

転倒関連主観尺度 使い分け記録シート

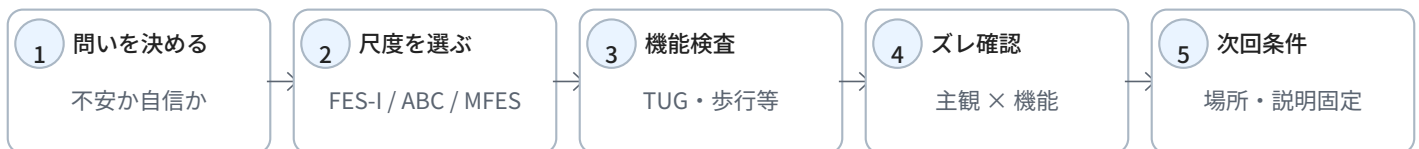
FES-I・ABC・MFES：不安 / 自信 / 面接運用を分けて記録

患者 ID		評価日		評価者	
場所		補助具・環境条件			

尺度選択：まず測りたい軸を決める

選択	尺度	主に見るもの	選ぶ場面	記録ポイント
<input type="checkbox"/>	FES-I	転倒への不安・心配	転倒後に活動を避ける / 怖さが主訴	不安が強い活動と回避場面
<input type="checkbox"/>	ABC	活動場面ごとの自信	屋外・段差・人混みで自信が低い	自信が低い活動を 2 つ
<input type="checkbox"/>	MFES	転倒自己効力感	面接で説明をそろえたい / 評価者交代	アンカー説明と欠測理由

5分フロー：選ぶ → 並べる → 記録する



比較記録欄：前回との差分を書き残す

記録項目	初回 / 前回	今回	変化	解釈・次の一手
選択尺度				<input type="checkbox"/> FES-I <input type="checkbox"/> ABC <input type="checkbox"/> MFES
総得点・得点の向き				高値 / 低値の意味を固定して記録
不安・自信が崩れる活動				低値または高値の活動を 2 つまで
機能検査とのズレ				例：機能は改善、屋外不安は残存
次回再評価条件				場所・補助具・同席者・説明文

自由記載・申し送り

低値 2 項目 / 生活場面 / 介入ターゲット / 家族・多職種への申し送り
